

自己を見つめ、自ら将来や生き方を考えるための指導の在り方
～第2学年「将来を考えた職場体験をしよう」の実践を通して～

日立市立中里中学校

1 はじめに

本校は「社会の中で活躍するためのスキルを身に付け、自ら解決していこうとする意欲をもち、夢や希望をもって未来を切り拓き、よりよく生きようとする生徒」を「めざす15歳の姿」に掲げ日々の教育活動に取り組んでいる。これを受けて、総合的な学習の時間では、身近に存在する様々な課題に対し、体験的な活動や問題解決的な学習を通して解決していく過程で、自ら考える力、人とのかかわりや地域の自然、文化などを大切にしようする態度を育てることにより、心豊かに生き生きと活動し、自ら学ぼうとする生徒を育むことを目指している。

第2学年では、「将来を考えた職場体験をしよう」をテーマとして、職場体験学習を中心的な活動に位置付け、勤労観や職業観等に着目して追究活動を行っている。調べ学習や体験報告で終わりにせず、自分をより深く見つめ直し、自らの意思と責任を大切にしながら将来における自己の生き方や進路選択ができる機会としている。

2 実践事例

(1) 単元名 将来を考えた職場体験をしよう

(2) 本単元で身に付けたい資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

ア 自ら課題を設定し、手段を選択しながら情報を収集する。

イ 相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する。

【自分自身に関すること】

ウ 自らの興味・関心に基づき、課題解決に向けて積極的に取り組む。

エ 自己の将来を考え、夢や希望をもつ。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

オ 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。

(3) 内容について

本単元は、本校の教育方針「なかさとスタイル」における将来設計力の育成をねらった学習であり、自己のよさや可能性に気づき、集団の一員としての役割を果たしながら、将来設計を明確にするため、主体的に活動できる力を育むことを目指している。

そこで、職場体験学習を中心的な活動に位置付け、勤労観や職業観等に着目して追究活動を行い、自分たちの考えを話し合っまとめる場を設定することにより、自分をより深く見つめ直し、自らの意思と責任を大切にしながら、将来における自己の生き方や進路選択ができる機会とした。本時の活動では、場の設定を工夫し、話し合いの手段としてKJ法的な手法を用いることで、コミュニケーションを取りながら協働的な学習ができるようにした。活動を通して、互いの価値観を理解しながら、自分の考えに自信をもって発表できるようにしていく。

(4) 単元目標

職業についての調査や追究活動、実際の職場体験を通して、課題解決の方法を身に付けるとともに、生き方を考えながら自ら勤労観や職業観を培うようにする。

(5) 単元の評価規準

観点	主体的・創造的に取り組む意欲【意】	課題解決の能力【能】	学び方・考え方【学】	生き方の振り返り【生】
評価規準	自らの興味・関心に基づき、課題解決に向けて積極的に取り組もうとしている。	自ら課題を見つけ主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとしている。	目的に応じて情報を収集・整理し、伝え方を工夫して自分の考えを伝えたり、互いに学び合ったりしている。	自分の夢や将来なりたいものを意識し、実現に向けて努力しようとしている。

(6) 学習計画（29時間取扱い）

学習過程	主な学習活動	評価規準及び評価方法
1 職業について知ろう (12時間)	・技能オリンピックのビデオを鑑賞する。 ・身近な「職業人」である家族に職業についてのインタビューをし、発表する。 ・興味・関心のある職業について調べる。 ・ハローワークによる出前授業を受ける。 ・中里の特産物であるりんご園に行き、体験活動と農家の方から話を聞いて、地場産業について触れる。	【意】 ・観察による評価（行動、発言） ・制作物による評価（ワークシート、感想カード）
2 職場体験をしよう (5時間)	・事業所調べを行い、職場体験の事業所を決定する。 ・打ち合わせの電話のかけ方を練習する。 ・事業所へ打ち合わせの電話をかける。 ・事前打ち合わせに行く。 ・職場体験学習を行う。	【意】 ・観察による評価（行動、発言） ・制作物による評価（TRIAL HAND BOOK） 【能】 ・観察による評価（行動、発言）
3 職場体験をまとめ、発表会をしよう (12時間)	・プレゼンテーション用ソフトを使って職場体験学習についてまとめる。 ・発表練習をして、相互評価する。 ・文化祭で発表する。 ・話し合う活動を通して自分の考えをまとめる。（本時）	【学】 ・観察による評価（行動、発言） 【能】 ・制作物による評価（発表資料） 【生】 ・観察による評価（行動、発言） ・制作物による評価（ワークシート）

(7) 本時の学習

① 目標

・働く目的や意義について話し合う活動を通して、互いの価値観を理解し、自分の考えをまとめ、発表することができる。

② 準備・資料

・ワークシート ・カード ・模造紙 ・パソコン ・プロジェクター
・スクリーン ・カラーペン

③ 展開 ㊦：個に応じた支援 ㊧：「なかさとスタイル」を推進するための支援 ㊨：評価

展開	主な学習活動と予想される児童生徒の活動・反応	教師の支援・評価	
		T 1	T 2
つかむ	1 本時の学習課題を知る。 なぜ、働くのだろう？	・本時の活動の流れを確認することで、見通しがもてるようにする。	
ふかめる	2 これまでの職業に関する活動を振り返る。 ・職業調べについて ・地場産業に触れた活動について ・職場体験学習について ・まとめと発表について	・スクリーンの画像で活動を振り返りながら、これまでの活動を思い起こさせる。 ・活動を振り返ることで本時の学習課題に対する関心を高める。	・これまでの活動をスクリーンに映す。

まとめる	3 職業に関する学習を通して、「働く」ということに対して思ったこと、考えたことを話し合う。 (1) 「なぜ、働くのか」ということに対して自分の考えを一人一人カードに書き出す。(何枚書いてもよい) ・思いついたことを書く。 ・分かりやすく簡潔に書く。 (2) カードに書いたことを一人一人が話し、互いの意見を聞く。 ・お金を得るために働く。 ・生きがいである。 ・誰かのために役に立つこと。 ・生活のため。 (3) みんなで話し合いながら関連性のあるカードを集め、色分けしてグループ化し、キーワードを記入する。 ・生活を維持するためのもの(生活維持) ・社会や人のためのもの(社会貢献) ・自分のためのもの(自己実現) (4) 模造紙に並べたカードを見ながら、「働く」ことについて意見交換をし、考えを深める。 ・将来の夢と関連させて… ・身近な人や地域で働く人のことを思いながら… ・自分たちのこれまでの活動を振り返りながら…	・円滑に話し合いが進められるように、話し合いの進め方を確認する。 ・場面によって、既習の「職業イメージマップ」を提示する。 ・KJ法的な手法を利用して、たくさんの考えを出し、課題のイメージを捉えやすくする。 ・中央のテーブルで全員が向かい合って話し合えるようにする。 ・話し合い活動が充実するように、時間を十分に確保する。 ・グループ化する際には生徒の考えを考慮した上で、適切な助言を行うようにする。 ・生徒から出た意見のキーワードを拾いながら話し合いを進め、学習課題に迫るようにする。 ・項目を色分けし、より分かりやすくなるようにする。 ・キーワードが出ない場合には適宜助言する。 ・全体の様子を見ながら話し合いが円滑に進むように助言をする。 ・話し合いの中で自分の夢や将来になりたいものを意識し、実現に向けて今の自分が何をすればよいのかも考えられるようにする。 ㊦ 自他の考えを認め合い将来について自分の夢や希望をもてるようにする。 ・考えをまとめることができるように、十分な時間を確保する。	㊦ 考えがすぐに出ない生徒には、これまでのさまざまな活動の中にヒントがあることを伝え、考えを引き出すようにする。 ・簡潔な言葉で表現できない場合に助言指導をする。 ㊦ 自分の考えに自信がもてない生徒には、カードに書かれた考えを認め、助言することで、自信がもてるように支援する。 ㊦ 話し合い活動に消極的な生徒には個別に声をかけ、積極的な発言ができるように支援する。 ㊦ 生徒の様子を見ながら、意見交換の場面で自分の考えが述べられるように、適宜に声かけをする。 ㊦ 発表に消極的な生徒には個別に声をかけ、自信をもって発表できるように支援する。
	4 「働く」ことについて、自分の考えをまとめ、発表する。 (1) ワークシートにまとめる。 (2) 全員が自分の考えを発表する。	㊦ 働く目的や意義について、自分の考えをまとめ、発表することができたか。 (発表・ワークシート)	
		5 本時の振り返りをする。 ・ワークシートに感想を記入する。	・本時の活動を振り返り考えが深まったことを全員で共有できるようにする。

3 単元に係る活動の様子

(1) 職業学習を深めるさまざまな活動の実践



ハローワークによる出前授業



職業調べ学習



りんごの摘果体験



各事業所での職場体験学習



職業に関する学習報告



りんごの収穫体験

(2) 実践事例の授業の様子



話し合い活動



KJ法的な手法による思考の可視化

話し合いの中で、生活のため、社会や人のため、自分のために働くということに気がきました。その中でも私は自分のために働いていると思います。生活していくため、夢を叶えるためなどは、自分に関わることであったからです。みんなの生活をよりよくしていくためには、まず自分が変わらなければならないと考えました。今日の話し合いを通して、私たちのために働いてくれている大人の方はすてきだなと思いました。これからは感謝の心を持って生活したいです。

総合的な学習の時間ワークシート
～考えてみよう！～
（11）月（27）日
「なぜ、働くのだろう？」
2年 [] 組 [] 号

◆話し合い活動を通して、自分の考えをまとめよう！◆
この話し合いの中で、生活のため、社会や人のため、自分のために働くということに気がきました。その中でも私は自分のために働いていると思います。生活していくため、夢を叶えるためなどは、自分に関わることであったからです。みんなの生活をよりよくしていくためには、まず自分が変わらなければならないと考えました。今日の話し合いを通して、私たちのために働いてくれている大人の方はすてきだなと思いました。これからは感謝の心を持って生活したいです。

◆本時の活動を通して、何を思ったか？◆
・「働く」というのは、自分や他人のために働くことだと思った。
・「働く」というのは、自分や他人のために働くことだと思った。
・「働く」というのは、自分や他人のために働くことだと思った。

生徒の感想ワークシート

4 成果と課題

さまざまな活動を通して、一人一人が「働くとは何か」を見つめ直し、「働く」ことの意義や目的などを見出すことができた。話し合い活動では、互いの考えを共有し、整理・分析していくことで、課題解決に向けた生徒の主体的・協働的な学びが見られ、気づきや発見、自分の考えなどをまとめ発表することにより、探究的な学習につなげることができた。単元の活動を経て、生徒たちは将来における夢や自己の生き方、進路選択などをこれまで以上に真剣に考えるようになった。しかし、見通しをもって活動することや課題に対して積極的に調べようとする意識が低い生徒もいる。今後は、さらに探究的な学習となるように、生徒一人一人が課題意識をもち、「自ら学ぶ」態度を育む、指導の工夫・改善を行っていききたい。